

[鈴木みきお]コラム

農業の魅力語る都会の人々 山梨の農業振興にも一工夫を

年が明けて間もない頃でした。何気なくテレビに目を向けると、農業への転職希望者を集めた都内でのイベントの話題が紹介されていました。広い会場には1000人を超える人があふれていました。若者から、世帯持ちの人、定年前後の人。職業、年齢層も様々。参加者からは、「ぜひチャレンジしてみたい」と農業への魅力が語られていました。

それを見ながらふと思うのは、農業後継者の不足、耕作放棄地の増加等々の県内での農業離れの現象です。都会人が魅力を感じている農業が、地方にすればなぜこのような現象が起きているのだろうかという思いです。本県農業は山間農地の比

率が高いなど、農業経営にとって不利な条件はあるようですが、果樹王国山梨の拠点でもある私たちの峡東地域でも高齢化、耕作放棄地の問題は他人事でないというのが現状です。県でも「やまなし農業ルネサンス大綱」を策定し様々な数値目標を設定していますが、一筋縄ではいかないようです。

都会の人たちが、農業への魅力を感じる様子を見ながら、これらの熱意をどのように地域へ導入できるかというのも、一つのポイントではないかと思いました。県や自治体の施策へ、今後とも積極的に提言していきたいと考えています。

[鈴木みきお] 写真で活動報告



●農政産業観光委員会県内視察
水産技術センター忍野支所(2013年5月)



●農政産業観光委員会(2013年6月)



●農政産業観光委員会県外視察
岩手県・久慈市(2013年9月)



●農政産業観光委員会意見交換会
(2013年11月)



●農政産業観光委員会県内視察
甲斐市のメガソーラー施設
(2013年11月)



●農政産業観光委員会
(2013年12月)



●自由民主党・創明会
県外政務調査視察 滋賀・新潟県(2014年1月)



山梨県議会議員

[鈴木みきお]

県政報告

第21号

平成26年2月

皆様の声を自信を持って提言し その実現のため邁進して参ります

「富士山世界文化遺産」「リニア新幹線」 「中部横断道」峡東地域振興に向けても 新たなスタートの年です

新しい年、2014年を迎えました。

年頭に当たって、県議会を活動の場としている私は「本年は、本県にとって“重要な年”」と認識しております。

2年前、安倍内閣への政権交代により、日本国内はようやく低迷からの脱却の兆しを感じられるようになりました。一方では、残念ながら私たちの暮らす山梨県、ひいては峡東地域においては、アベノミクスの恩恵はもう一步の感は否めないというのが昨年の様相でした。そうした中であって、本県では富士山の世界文化遺産登録の実現をはじめ、リニア新幹線計画の詳細発表、中部横断道の建設工事の進展など、将来へ向けての発展への足がかりとなる出来事が多々ありました。

加えて2020年の東京オリンピックの開催決定は開催地東京に隣接する本県にとっては、またとない好機となるに違いありません。その好機に向けて、いちはやく万全な準備をスタートさせなければならないのが本年だと思えます。わが峡東地域においても

同様です。

富士山もリニアも横断道も当地域内ではありませんが、これらの材料を地域の発展と結びつけていかなければなりません。峡東地域の振興を県の施策に絡めていかなければなりません。

県議会議員としての責務は重大と認識しております。これらの方策について地域の皆様からご意見をお寄せいただくことも期待しております。

山梨県議会議員

鈴木みきお

